



山内社長

総会には会員・関係者

ニューレジストン(大阪府和泉市、山内憲司社長)の販売店組織、レジストン会の2015年全国総会が10月28・29日の両日、横浜市西区の横浜ベイホテル東急で盛大に開催された。今回の全国総会で設立40周年の節目を迎え、出席者一同が新たな門出を祝うとともに、同社製品の拡販へ向け決意を新たにされた。

レジストン会が全国総会 節目の40周年に拡販誓う

「切・削・磨」分野の充実図る

ニューレジストン(大阪府和泉市、山内憲司社長)の販売店組織、レジストン会の2015年全国総会が10月28・29日の両日、横浜市西区の横浜ベイホテル東急で盛大に開催された。今回の全国総会で設立40周年の節目を迎え、出席者一同が新たな門出を祝うとともに、同社製品の拡販へ向け決意を新たにされた。

総会の冒頭、山内社長は「ここにきてようやく景気の明るさが出てきた。業界ではオフセット砥石が伸び悩むなか、当社は会員各位の尽力により微増で推移している。また、当会が設立40周年を迎えられたのも会員のご支援があったからこそ」と謝辞を述べたうえで、「販売店・ユーザーに貢献できるきめ細かい製品の開発を念頭におき、ユ

ニークなアイデアを形にする企業であり続ける。2年後の全国総会で当社設立50周年を盛大に祝えるよう精一杯努力する」と述べ、今後の飛躍を誓った。

本日参集の会員各位とともに、ニューレジストン製品の販売を盛り上げていきたい」と同社製品の販売に前向きな姿勢を示した。

九州支部の内村武志支部長(サツマ酸素工業社)は「私も販売店がニューレジストンにしてお願うことはただ一つ。たゆまぬ研究開発による新製品の開発、顧客に提案する際の販売の助成である」とより一層の支援を要請した。

代理店レジストン会の古田充孝会長(マツモト産業社長)は「ニューレジストン製品への思い入れは強く、私が新人のころ神奈川県相模原に配属され、一人で飛び込み営業を展開し拡販を実施した。その時、技能者の少し高価でも良いものを使用したいという思いを

感じ、同社製品は安かろう悪かろうではない。良い製品を使用してもらいたいという姿勢がみてとれる。今後、景気の伸び

が予想されることから、会員一丸となって前進したい」と意気込みを語った。

この後、新支部長紹介が行われ、関東支部の野村俊明新支部長(野村産業社長)、四国支部の大久保重敏新支部長(大久保産業社長)がそれぞれ決意表明し、また、関東支部前支部長の島田隆昭氏(シマキユウ社長)が14年度実績表彰では、同社製品の販売に貢献した。

た会員に対し、山内社長が感謝の意を込め表彰状と記念品を手渡した。ニューレジストン技術開発センターの中村充孝マネージャーが「切・削・磨」分野の更なる充実に向けて」と題して、発売以来、高評価を受け「ミニシリーズの新製品58」、「同75」とセラミック砥粒製品「セラック50」、「同75」の発表を行い、総会の挿尾を飾った。

なお、総会開催前に独立総合研究所の青山繁晴社長兼首席研究員による「資源大国へ、祖国は甦る」と題した講演が行われた。

総会後の懇親会では、ニューレジストンの笹原興平常務が「総会では会員各位からありがたい言葉をいただき身の引き締まる思い。今後ともユーザーニーズを迅速かつ的確に捉えタイムリーに提供することへ会員の役に立ちたい」と挨拶した。

代表者による饗開きに続き、北海道支部の宮極靖成支部長(トガシマシン社長)は「中国の諺で乾杯はその数だけ友を作り、その数だけ幸せになれる」と言われている。ニューレジストンの益々の繁栄と本日列席の会員各位の幸せを祈念する」との乾杯の発声で宴会に入った。

東急ホテル料理長による創作料理を堪能しながら、豪華景品が当たるアトラクションが用意されるなど、出席者大いに楽しませた。中締めは、関西支部の岩崎正敏支部長(岩崎酸素社長)が登壇し一本締めを行った。

懇親会終了後は、ペヤングソース焼きそばのCMなどで全国的に活躍するジャズシンガー、木下綾香によるライブで秋の夜長を満喫。翌日には中西輝政京都大学名誉教授の講演が行われ、2日間にわたり盛大に開催されたレジストン会全国総会の幕が閉じた。



総会で展示されたミニシリーズ



懇親会で行われた「饗開き」